

長尾市長 2期目に向けて

任期満了に伴い、平成30年1月28日に行われた平川市長選挙において、長尾忠行氏が再選されました。

2月5日に市民や職員に出迎えられながら市役所本庁舎への登庁を行い、市政2期目のスタートを切りました。



登庁セレモニーで花束を受け取る長尾市長



プロフィール

ながお ただゆき
長尾 忠行

1949年3月、旧平賀町生まれ。
東京農業大学農学部卒。平賀町議会議員を経て青森県議会議員（第76代議長を務める）。議会改革検討委員会委員長。
趣味は読書と野球など。
広船地区在住。

元気な平川市をさらに前進させるために

このたびの平川市長選挙におきましては、市民の皆様のご信任を賜り、引き続き2期目の市政を担わせていただくことになりました。

この選挙期間中に、市民の皆様からいただいた市政への思い、ご意見をしっかりと受け止め、あらためて私に課された使命と責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

私は、1期目の取り組みとして、「対話と実行」「透明性と発信力」「公正・公平」の三つの基本姿勢を軸とし、子供が元気、スポーツで元気などの「元気なまちづくりプロジェクト10」を公約に掲げ、これまでまちづくりを進めてまいりました。

現在、我が国では、人口減少、少子高齢化という大きな課題に直面しております。本市においても年間250人前後のペースで人口が減少しておりますが、平川市をさらに発展させ、平川市に住んで良かったと思えるまちにするため、今年度から第2次平川市長期総合プランをスタートさせました。「1. 子育てしやすいナンバーワンのまち」

「2. 住み良さを実感できるまち」「3. 健康長寿青森県ナンバーワンのまち」「4. 新エネルギーで環境にやさしいまち」「5. 新たな食の産業を創出するまち」「6. 海外に目を向けた観光・交流のまち」「7. スポーツで元気なまち」これら7つのまちづくりを進め、本市の将来像である「あふれる笑顔 暮らし輝く 平川市」の実現に向け、計画事業を着実に展開してまいります。

これから2020年度にかけ建設を進めている新本庁舎は、耐震化を施したワンフロアサービスを提供できる施設となり、新体育館は災害時の避難所としての機能を併せ持つ施設となります。今後も将来を見据え健全な財政規律を守りつつ、安全・安心なまちづくりを進めてまいります。

引き続き、チーム平川の先頭に立ち、市民が主役の、市民の暮らしが輝くまちの実現に向け、市政運営に努めてまいりますので、市民の皆様をはじめ、関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。